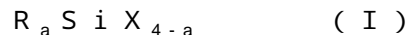


【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第1区分
 【発行日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【公表番号】特表2002-543028(P2002-543028A)
 【公表日】平成14年12月17日(2002.12.17)
 【出願番号】特願2000-613785(P2000-613785)
 【国際特許分類】
 C 0 3 C 17/25 (2006.01)
 【FI】
 C 0 3 C 17/25 A

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成20年3月27日(2008.3.27)
 【誤訳訂正1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】請求項3
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【請求項3】

強化安全ガラスを製造するため、一般式I

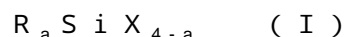


[式中、残基は同じであるか又は異なっており、Rは酸素及び/又は硫黄原子により及び/又はアミノ基により中断されていてもよい1~10個の炭素原子を有する有機残基を表し、Xは水素、ハロゲン、ヒドロキシ、アルコキシ、アシルオキシ、アルキルカルボニル、アルコキシカルボニル又はNR'₂を表し、R'は水素、アルキル又はアリアルであり、aは0、1又は2である]

の単数又は複数のケイ素化合物及び/又はこれから誘導された予備縮合物を、場合によっては溶媒及び/又は触媒の存在下に水又は湿気的作用により加水分解して縮合することにより得られ、更に単数又は複数のOH基及び/又はNH基を有する200~500,000の平均分子量を有する有機ポリマーをコロイド状に溶解して含み、その際一般式Iの有機改質シランに対するポリマーのモル比が0.1~100mモル/モルシランであって、7以上のpHを有するコロイド分散溶液で、普通のガラスをコーティングし、このコーティングされたガラスを乾燥し、有機成分の除去、SiO₂層の調整及び強化のため、少なくとも630の温度に加熱し、急冷することを特徴とする請求項1又は2に記載の安全ガラスの製造方法。

【誤訳訂正2】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0015
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0015】

このコロイド分散溶液は、一般式I、



のケイ素化合物を加水分解して縮合することにより得られる。

[式中、残基は同じであっても異なってもよく、Rは酸素原子及び/又は硫黄原子により及び/又はアミノ基により中断されていてもよい1~10個の炭素原子を有する有機残基であり、Xは水素、ハロゲン、ヒドロキシ、アルコキシ、アシルオキシ、アルキルカルボニル、アルコキシカルボニル又はNR'₂を表し、R'は水素、アルキル又はアリアルであり、aは0、1又は2である。]